



# 東京金山会通信 No.17

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)  
☎080-5525-0435  
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

東京金山会は1月25日に役員会を開いた以降は、コロナウイルスの影響で活動を行っていません。役員間の連絡はすべて電話、メールで行っており、なんとも味気無さを感じながら金山会運営に当たっています。せっかく都内に金山会事務所を持ちながらもこの半年間、3密を避けるために会合や作業はできていません。しかしその状況下でも、大場前会長が役員2人に的確な作業指示を出し、会員及び関係者1300名に「第62回金山会総会中止のお知らせ」を送付することができました。また、同封しました「賛助金要請」につきまして、8/3現在、30名の方から13万円のご寄付を頂戴しています。心より感謝申し上げます。

しばらくはマスク着用を第一とし、3密に留意され自分の身と家族を守っていきましょう。東京金山会の皆さま、次回の金山会総会に元気で再会できることを祈念いたします。文責：佐藤保

**【都会でがんばる金山町出身者】**  
都会での生活を夢見て故郷をあとに、都会での荒波にもまれながら故郷を思い、がんばっている皆さんを紹介していきます。5人目は高橋和雄さんです。



高橋さんご家族 (写真左一番目が和雄さん)

上台出身の高橋です。故郷を離れて60年余りになります。都会のジャングルで額に汗して、朝早くから夜遅くまでがむしゃらに働きました。金山へは年に3~4回帰っておりましたが今年は自粛中です。コロナが終息したら家族で帰省出来たらと思っています。何歳になっても故郷はいいですね。

## No.175 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『ま、いっか!』  
(サトシン/作 ドーリー/絵  
株式会社えほんの杜)

目覚まし時計の音で、テキトーさんは目を覚ましました。「大変だ!時間のセットを間違えちゃったみたいだぞ!」もはや、絶対、遅刻です。でも、テキトーさんはこう思いました。「ま、いっか!」その後失敗を繰り返して、それでも「ま、いっか!」と前に進み続けるテキトーさん。失敗したらそのダメージをずっと引きずってしまいがち。学校でも反省して、次の学びに続けられるようになって。でも、そればかりだとしんどいよね。たまには「ま、いっか!」って流して、次に進んでもいいんじゃないかしら。



※( )内作者名

美女ステイホーム (林真理子) / 平安女子はみんな必死で恋した(イザベラ・ディオニシオ) / てんげんつう (畠中恵) / キャラクターでわかる星と宇宙 (藤井旭) /

タイガー理髪店心中 (小暮夕紀子) / おっぱい先生 (泉ゆたか) / 山形のスマレ (鹿間広治)

## 「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00

『モヤモヤそうだんクリン』  
(池谷裕二/NHK出版)  
256名の小学生から寄せられた「なぜ?」「どうして?」に、科学と「ユーモア」で向き合います。●頭が良くなる薬はありますか?●心って人間のどこにあるんですか?など、回答から生まれる発見と新たな問いかけは、大人が読んでも楽しめること間違いなしです。



『ふしぎの国のバード』  
(佐々大河/ADOKAWA)  
19~20世紀初めに世界各地を訪れた実在のイギリス人女性冒険家イザベラ・バードの著書『日本奥地紀行』を基に、バードが通訳ガイドの伊藤鶴吉と共に、横浜から蝦夷へと旅する姿と、旅先で出会った明治初期の日本の文化や人々をフィクションを交えて描く。第5巻には金山町での出来事が描かれている。



今月は7冊!

## 各種サービスを利用して防災・防犯情報を入手!

### ①町行政情報メール

金山町では、行政情報メールを配信しています。気象情報や発令中の警報情報など、町内に放送した内容をメールでも随時お送りします。

放送が大雨で聞こえない場合や町外にいる時でも、携帯電話にメールで情報が届くため有事の際の情報収集に役立ちます。登録に際してご不明な点があれば、お問い合わせください。

☎ 役場総務課 広報情報係 ☎ 52-2111 (内線225)

[金山町行政情報メール]



こちらのQRコードを読み取ってご登録ください。

9月は防災月間!

### ②やまがた110ネットワーク

山形県警察から、不審者情報・交通安全情報・交通障害情報(24時間配信)・防災情報などをメールで受信することができます。

☎ 新庄警察署 ☎ 22-0110



こちらのQRコードを読み取ってご登録ください。

### ③NHKニュース・防災アプリ

NHKニュースの公式アプリでは災害・気象情報を地図で確認できるほか、今出ている警報や避難勧告などの情報を得ることができます。災害時に必要な情報をまとめて入手できるアプリです。



こちらのQRコードを読み取ってご登録ください。

### 金山杉俳句会報 第四三回



雨あがり燕飛び交ふ素早さよ 阿部 一代  
風鈴の音に誘はれ回り道

夏薊写メール届く野の風情 星川 きえ子  
風鈴をチリりと揺らし午後の風

朝採りの曲り胡瓜の棘光る 岸 あき子  
夏掛けに替えて程良き眠りかな

雨に濡れ額紫陽花の藍ぞ濃し 高橋 洋子  
列島は病に麻痺成す辱暑かな

良寛の仮名文字なぞる合歓の花 鶴沼 よし子  
蓮池の静寂に座す千手仏

教え子の望郷の詩濃あぢさい 阿部 サタエ  
古里の絆は強しさくらんぼ

亡き夫の箸添へ供ふ豆御飯 荒屋 阿部 勝子  
病葉を摘むも花壇の整理かな

梅雨明けや何と無残な置き土産 荒屋 関 喜美子  
裏山の蝉の鳴き声エールあり

浄土とは西方なるや雲の峰 菅 越 庄司 けみ子  
ひと区切り肩で息つく夜の秋

夏めくや水音絶えぬ鯉の群れ 七日町 柴田 栖静  
退院の友を祝ふや蟬時雨

夏祭り老舗も無くすコロナ菌 羽場 坂本 徳太郎  
胡瓜もぐ朝か夕べか悩む刻

清々し釣り糸流す夏の川 上台 阿部 一步  
長々と猛威を奮ふ梅雨の空

史を柱ふ郷の家並みや青葉風 七日町 村松 奈風  
斯道なり俳を逃さぬ夏見舞